

ライフケアガーデン熱川 本館

症 例 概 要 利用者:90代、女性、要介護5

病名: 右上腕骨頸部骨折(2021年1月)、左大腿骨転子部骨折(2019年4月)、両側慢性硬膜下血腫(2017年11月)、高血圧、糖尿病、右大腿骨転子部骨折(2021年8月)

経過: 2回自宅にて転倒し、硬膜下血腫を受傷。入院加療し、自宅に戻られていたが、2年前に左大腿骨を骨折。その入院加療後、また左上腕骨を骨折。独居に限界を感じ、今年3月に入居となる。

内 容

入居前は、骨折による入院を繰り返され体力低下し、歩行困難、起居動作に介助がいる状態となっていました。入居後も表情には覇気がなく、動作緩慢で、食事に時間がかかるため、早い時間からお食事を提供するグループに入っており、おかずは刻まれたものや、ムース状のものを中心に提供していました。

同じ707で仲良くなった3人組のグループに入れ話す機会がだんだんと増えました。

起床や食事が一定なため、乱れがちだった生活リズムが整い、一人暮らしではなかなか実現できなかったバランスが取れた食事や、定期的な入浴が可能となりました。徐々に健康状態が改善されると体力も回復してきて、起居動作が介助不要となり、夜中の体位交換も不要、排泄もスタッフによりトイレ誘導していたのが、ご自分で行くようになりました。

リモート面会の話も、息子さんが海外に住んでいるから無理と勝手に思い込み、興味を示しませんでしたがそんなことはなく「息子さんが海外にいてもリモート面会はできるよ」と話したところ興味を持っていただけました。それ以降、ご本人だけでなく息子さん及びそのお嫁さんも大変喜ばれ、週に1回のリモート面会をととても楽しみにしており、だんだんと施設内のイベントにも積極的に参加するようにもなりました。

『あゆの塩焼き』レクリエーションでは上手に箸をつかいても美味しそうに食べており笑顔がたくさん見られました。

敬老会では職員の『ラインダンス』を誰よりも楽しんでおり、手を叩いてリズムをとってとても楽しそうでした。

ご家族からは、「いつもありがとう」、「コロナの中、健康で安全に頑張ってください」とのお言葉をいただ

いております。

ご本人だけでなくご家族もキラキラ輝いている事象でした。